

福山城南側道路の歩行者優先空間の創出に向けた取組について

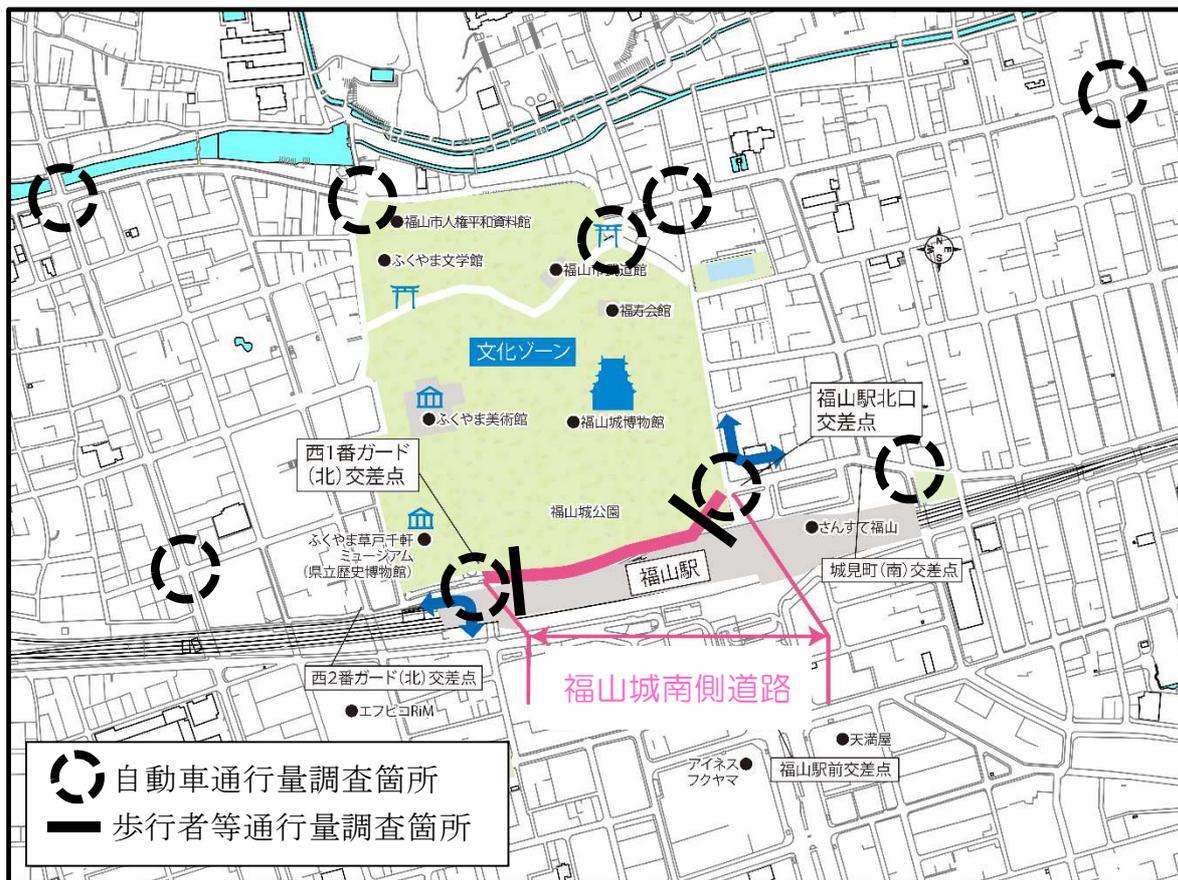
1 目的

福山城と福山駅の間に位置する市道西町若松線の約300m区間（福山城南側道路）は、福山駅北口への重要なアクセス道路であるが、歩行者や自転車と送迎・通過車両等が錯綜しているとともに、その他の課題としても、車優先の空間から歩行者優先の空間への転換が必要とされている。

このため、福山駅周辺の「南北地域の回遊性創出」や「歩行者の安全性向上」を目的とし、昨年度の第1回目と異なる条件のもとで、今年度2回の実証実験を実施した。

これまでの結果を踏まえ、関係者等と協議を行い歩行者優先空間の創出に向けて取り組む。

実証実験（第2回・第3回）位置図



2 これまでの取組

年 度	実施日時等
2017年度 (平成29年度)	<p>【実証実験（第1回）】</p> <p>日 時：10月28日（土），29日（日） （歩行者天国化）11時～17時</p> <p>調 査：自動車・歩行者等通行量調査，来訪者，関係者及び 市民へのアンケート調査</p> <p>イベント：無し</p>
2018年度 (平成30年度)	<p>【実証実験（第2回）】</p> <p>日 時：6月9日（土），10日（日） （歩行者天国化）10時～19時</p> <p>調 査：自動車・歩行者等通行量調査，来訪者アンケート調査</p> <p>イベント：有り</p>
	<p>【実証実験（第3回）】</p> <p>日 時：10月29日（月）～11月4日（日） （歩行者天国化）7時～20時 11月12日（月）～11月17日（土） （車両一方通行：西から東行きのみ）7時～20時</p> <p>調 査：自動車・歩行者等通行量調査， 関係者及び市民へのアンケート調査</p> <p>イベント：11月3日（土）のみ有り</p>

3 実証実験の概要

（第2回）

車両通行止めを，イベント開催した土曜日・日曜日の2日間行い，自動車・歩行者等の交通実態調査を行った。

また，来訪者へのアンケート調査を行った。

〔第1回からの主な変更点〕

- 実施時間の延長（第1回：11時～17時→第2回：10時～19時）
- 周辺道路ネットワークへの影響等を調査するため，自動車通行量の調査箇所を3か所から9か所に追加
- 道路上等でのイベント実施

（第3回）

車両通行止めを1週間，一方通行（西から東行きを可）を1週間行い，それぞれ平日に自動車・歩行者等の交通実態調査を行った。

また，関係者及び市民へのアンケート調査を行った。

〔第2回からの主な変更点〕

- 実施時間の延長（第2回：10時～19時→第3回：7時～20時）及び1週間の実験実施
- 車両通行に対する規制方法の追加（車両一方通行）

4 調査結果（別冊資料）

（第2回）

○交通実態調査結果

- ・自動車通行量
- ・歩行者等通行量

○アンケート調査結果

- ・来訪者アンケートの回収数：593票

（第3回）

○交通実態調査結果

- ・自動車通行量
- ・歩行者等通行量

○アンケート調査結果

- ・関係者アンケートの回収数：78票
- ・市民アンケートの回収数：444票

5 今後の予定

これまでの結果を踏まえ、来年度から基本設計に取りかかり、交通管理者の警察や、隣接する土地所有者のJR西日本、近隣の自治会、町内会と協議するとともに、福山駅前デザイン会議で議論する中で整備方針を定め、2022年（平成34年）に迎える福山城築城400年までに、駅南北の回遊性向上や歩行者の安全性向上に資するよう、歩行者優先空間の創出を目指す。

福山城南側道路 実証実験
(第2回) 及び (第3回) 調査結果
【概要版】

I 実証実験（第2回）調査結果 【概要版】

1 交通実態調査結果

(1) 交通実態調査の概要

- ・調査日：実験を行った日（実験日） 6月 9日（土）
 実験を行っていない日（休日） 6月16日（土）

調査種別	調査概要
①自動車通行量	[対象箇所] 交差点 9箇所 [調査内容] 方向別及び車種別の通行量を調査 （7車種：大型貨物，大型バス，小型バス・マイクロバス，タクシー，小型乗用，小型貨物，バイク） [調査時間] 7：00～20：00（13時間）
②歩行者等通行量	[対象箇所] 横断歩道 2箇所 [調査内容] 歩行者，自転車，ベビーカー・車椅子等の通行量を調査 [調査時間] 7：00～20：00（13時間）

・調査位置図



(2) 交通実態調査の主な調査結果 (実験実施時間 10:00~19:00)

- ・ B箇所 (市道山手東手城幹線) の自動車通行量は、実験日では約900 (台/9h) 増加している。
- ・ 福山城南側道路を歩行者天国化してイベントを開催した実験日では、イベント等を実施していない休日と比べ歩行者等通行量が約600 (人/9h) 増加している。



調査種別	箇所	実験実施時間 9 時間 (10:00~19:00) (車両通行止め)		
		休日 (①)	実験日 (②)	増減
		6/16(土)	6/9(土)	②-①
自動車 通行量	A箇所	7,779	7,991	212
	B箇所	8,363	9,297	934
	C箇所	6,914	7,357	443
	D箇所	6,592	6,766	174
	E箇所	2,009	2,187	178
	F箇所	3,398	3,521	123
	G箇所	4,543	2,104	-2,439
	H箇所	5,913	6	-5,907
	I箇所	5,608	4,899	-709
歩行者等 通行量	H箇所	3,296	3,904	608

2 アンケート調査結果

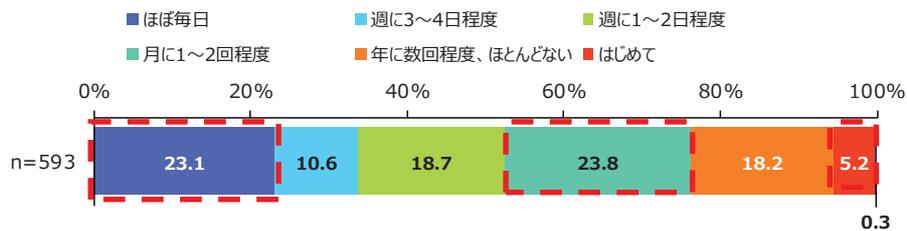
(1) アンケート調査の概要

調査対象	実験実施時間に福山城南側道路を通行した方（来訪者）
調査方法	調査員が来訪者に聞き取り
調査期間	2018年(平成30年)6月9日(土), 10日(日)
回収数	593票

(2) 来訪者アンケート調査の主な結果

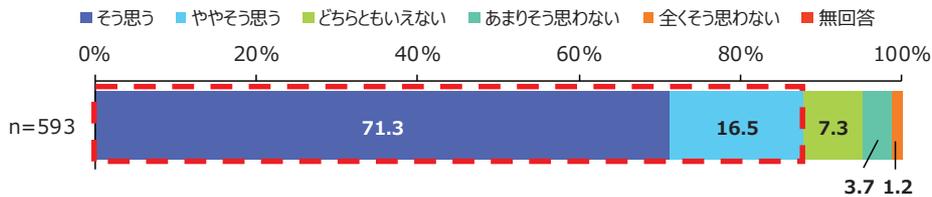
(ア) 福山駅周辺への来訪頻度

- ・来訪頻度は、「月に1～2回程度」という人が約24%、次に「ほぼ毎日」という人が約23%となっている。
- ・来訪が「はじめて」という人は約5%となっている。



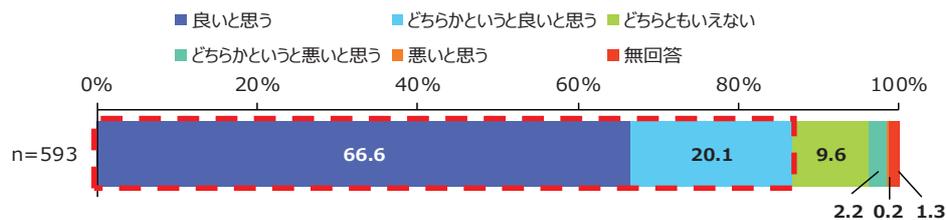
(イ) 駅周辺での「歩行者を重視した取組」の重要性

- ・「そう思う」「ややそう思う」を合わせると約9割が肯定的な意向を持っている。



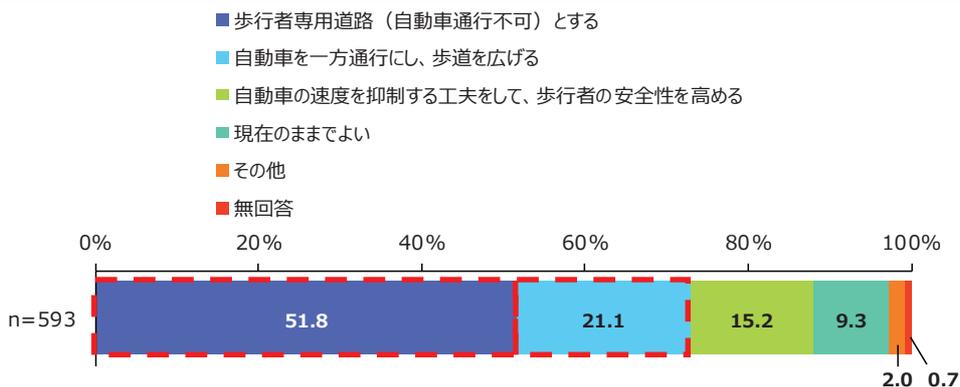
(ウ) 実証実験の取組（車両を通行止めにして歩行者天国化すること）について

- ・「よいと思う」「どちらかというともよいと思う」を合わせると約9割が肯定的な意向。



(エ) 福山城南側道路の今後の整備の方向性について

- ・「歩行者専用道路」を希望する人が約52%を占めており、次に「一方通行にし、歩道を広げる」を希望する人が多く約21%を占めている。



II 実証実験（第3回）調査結果 【概要版】

1 交通実態調査結果

(1) 交通実態調査の概要

- ・調査日：実験を行った日（実験日1：車両通行止め） 11月 2日（金），
（実験日2：車両一方通行） 11月16日（金）
- 実験を行っていない日（平日） 11月 8日（木）

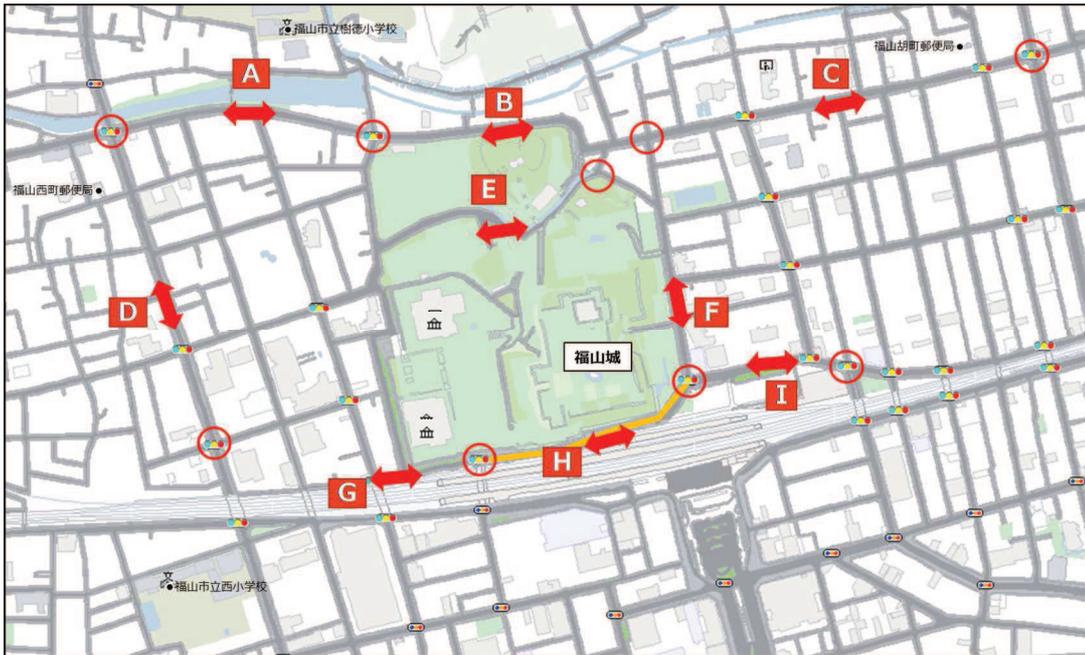
調査種別	調査概要
①自動車通行量	[対象箇所]交差点9箇所 [調査内容]方向別及び車種別の通行量を調査 （7車種：大型貨物，大型バス，小型バス・マイクロバス，タクシー，小型乗用，小型貨物，バイク） [調査時間]7：00～20：00（13時間）
②歩行者等通行量	[対象箇所]横断歩道2箇所 [調査内容]歩行者，自転車，ベビーカー・車椅子等の通行量を調査 [調査時間]7：00～20：00（13時間）

・調査位置図



(2) 交通実態調査の主な調査結果 (実験実施時間 7:00~20:00)

- ・ B箇所 (市道山手東手城幹線) の通行量は、福山城南側道路を車両通行止めとした実験日1では約2,300 (台/13h) 増加, また, 車両一方通行とした実験日2では約1,400 (台/13h) が増加している。
- ・ 福山城南側道路を車両通行止めとした実験日1では、歩行者等通行量が約150 (人/13h) 増加, また, 車両一方通行とした実験日2では約90 (人/13h) 増加している。



調査種別	箇所	実験実施時間 13時間 (7:00~20:00) (車両通行止め)			実験実施時間 13時間 (7:00~20:00) (車両一方通行)		
		平日 (①)	実験日1 (②)	増減	平日 (①)	実験日2 (②)	増減
		11/8(木)	11/2(金)	②-①	11/8(木)	11/16(金)	②-①
自動車 通行量	A箇所	10,093	10,964	871	10,093	11,036	943
	B箇所	11,058	13,311	2,253	11,058	12,451	1,393
	C箇所	9,174	10,457	1,283	9,174	9,771	597
	D箇所	9,149	9,786	637	9,149	9,782	633
	E箇所	1,692	3,295	1,603	1,692	2,772	1,080
	F箇所	3,346	4,125	779	3,346	4,303	957
	G箇所	4,376	2,392	-1,984	4,376	2,768	-1,608
	H箇所	5,693	2	-5,691	5,693	2,483	-3,210
	I箇所	6,226	5,743	-483	6,226	6,739	513
歩行者等 通行量	H箇所	3,440	3,589	149	3,440	3,529	89

2 アンケート調査結果（概要）

（1）アンケート調査の概要

・関係者アンケート調査

調査対象	地元自治会・町内会，交通系事業者，その他企業団体等
調査方法	郵送により配布，回収
調査期間	2018年(平成30年)11月16日(月)～30日(金)
回収数	78票(配布数197票)

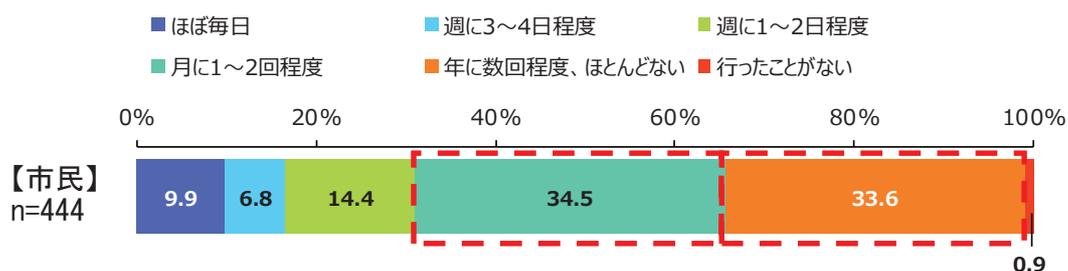
・市民アンケート調査

調査対象	福山市民等
調査方法	インターネットリサーチ，福山市HPアンケート
調査期間	2018年(平成30年)11月16日(金)～30日(金)
回収数	444票

（2）関係者及び市民アンケート調査の主な結果

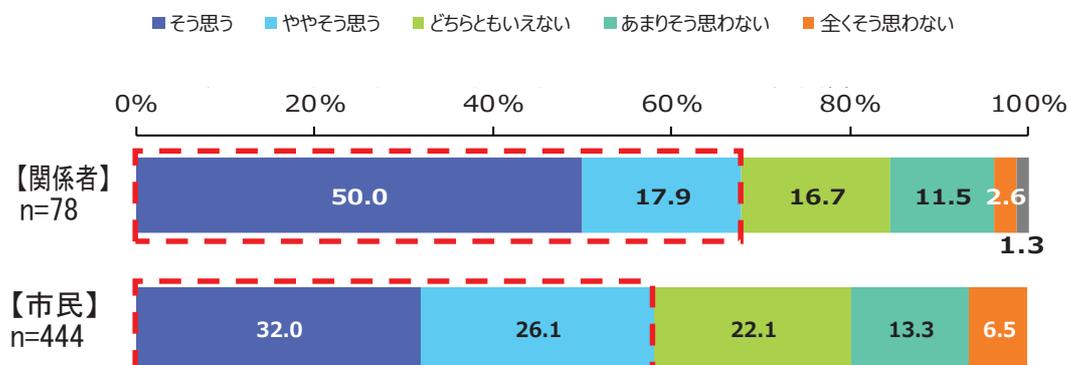
（ア）福山駅周辺への来訪頻度

【市民】来訪頻度は、「月に1～2回程度」という人が約35%，次に「年に数回程度，ほとんどない」という人が約34%となっている。



（イ）駅周辺での「歩行者を重視した取組」の重要性

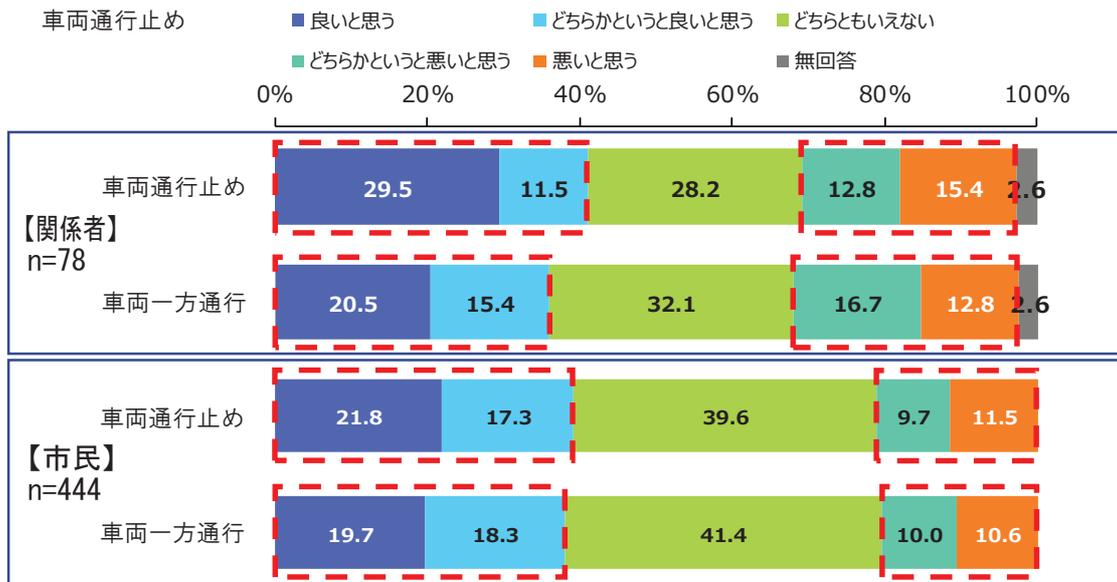
【関係者】「そう思う」「ややそう思う」を合わせた回答が約7割を占めている。
 【市民】「そう思う」「ややそう思う」を合わせた回答が約6割を占めている。



(ウ) 実証実験の取組（車両を通行止めにして歩行者天国化とすること，又は車両一方通行とすること）について

【関係者】 どちらの実証実験においても、「良いと思う」「どちらかというが良い」を合わせると約4割，「どちらかというが悪いと思う」「悪いと思う」をあわせると約3割の意向となっている。

【市民】 どちらの実証実験においても、「良いと思う」「どちらかというが良い」を合わせると約4割，「どちらかというが悪いと思う」「悪いと思う」をあわせると約2割の意向となっている。



(エ) 福山城南側道路の今後の整備の方向性について

【関係者】 「歩行者専用道路」を希望する人が約35%で最も多く，次に「現在のままでよい」という人が約19%，「自動車を一方通行にし，歩道を広げる」が約18%となっている。

【市民】 「歩行者専用道路」を希望される人が約33%で最も多く，次に「現在のままでよい」という人が約26%，「自動車を一方通行にし，歩道を広げる」が約20%となっている。

